

青「この階級を越す必要は、私にはない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

松「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

青「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

松「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

青「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

松「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

青「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

松「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

青「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

松「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

青「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

松「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

青「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

松「階級を越す必要はない。むしろ、下りて来るべき地位に居るべきだ。」

田圃法人協同會大阪支

て置きますよよく覚えて居て下さい貴方の様な特權階級は永久に

續くものと思つて居ますか聽がては我々の力で覆して見せる、

労働者の公敵として労働者の幸福の爲めに君達資本家を葬るの

だ、殊に貴方の様に組合と勇敢に戦ふことを宣言するものは我

我の當面の敵である地位と資本階級なる事を明瞭に記憶して居

て欲しい」

松「有難ふ又來給へ青柿腹が空いてるなら茶漬なと一詣に食ふをう

か」

青「結構です」

終り